

大会宣言

われわれは、第57回定期大会を2日間にわたって開催し、2020・21年度の運動方針など諸方針を決定した。

令和初の国政選挙となった第25回参議院選挙は、有権者が大きな変化を望まなかった。選挙戦で与党は「政治の安定」を掲げ、国民民主党は限界が明らかとなったアベノミクスから「家計第一」の経済政策に転換を訴えたが、双方とも追い風を生み出せなかった。選挙後の政治は「財政の健全化」や「年金を含む社会保障改革」「日米貿易交渉」などの難題に向き合わなければならない。「安倍1強政治」による長期政権のおごりと緩みは誰の目にも明らかになっており、首相は自ら緊張感を持ち、丁寧な合意形成に努めなければ、国民の重い負託には応えられないことを肝に銘じるべきだ。

デフレ脱却と経済の好循環実現に向けて、わが国の労使関係の特徴づける「春闘」が今年も展開された。人手不足と働き方改革という後押しもあり、企業規模間、雇用形態間、男女間など、格差是正に向けた取り組みが大きく前進した。「働く者の処遇改善と働き方の見直し」など労使交渉が果たす役割はますます大きくなっている。

交通運輸産業を取り巻く環境は変化のスピードも速く、安全輸送の確立をはじめ働き方改革への対応など課題が山積している。交通運輸政策研究会との連携を一層強化し「産業政策活動の実現」に全力を挙げて取り組まなければならない。あわせて「春季生活闘争」と「組織防衛・強化・拡大」を三位一体として取り組み、産別としての存在意義を高めるとともに、加盟組合にとって魅力ある産別の実現を目指す。

われわれは、「自由にして民主的な労働運動」を堅持し、掲げた諸方針に基づく取り組みを着実に進めつつ、これまでの歴史と伝統に誇りを持ち、“組織防衛・強化・拡大に総力を結集し 力強い交通労連の実現を!”をスローガンに、労連運動を展開していくものとする。

以上、宣言する。

2019年9月19日

交通労連第57回定期大会